

いーぶん

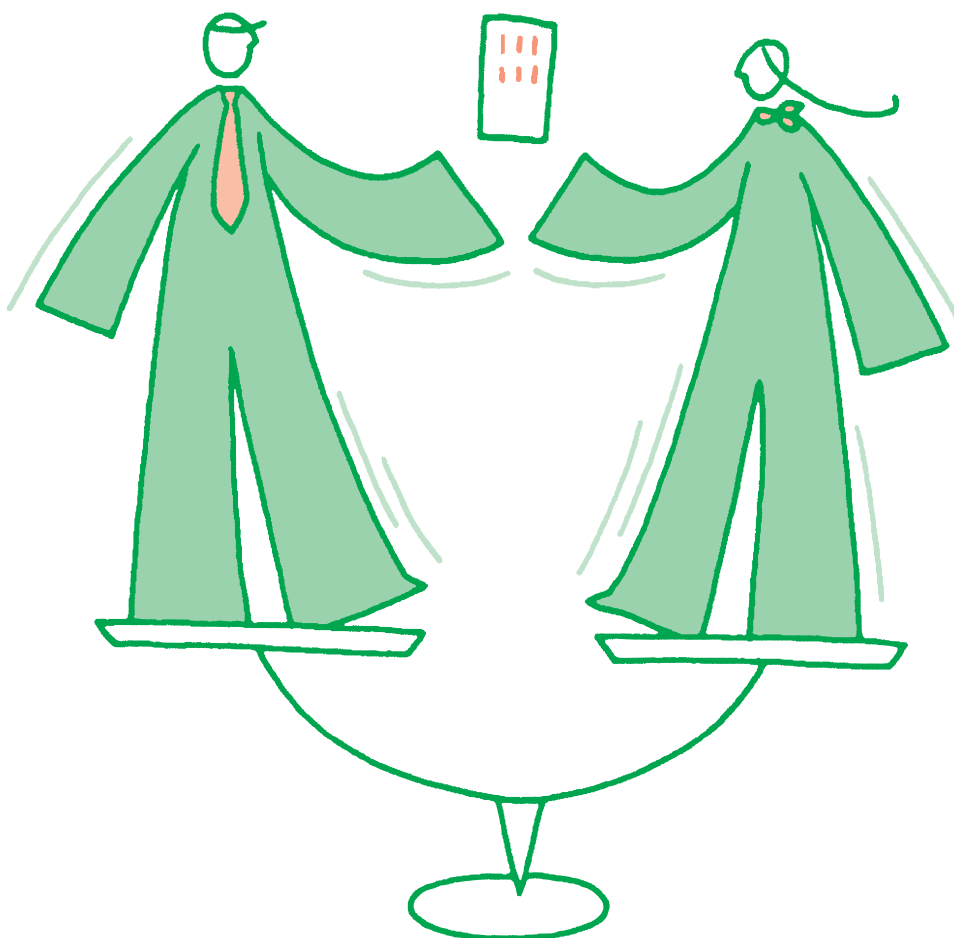
● 素敵なパートナーになるために ●

特集

創刊号

平成13(2001)年3月

「ジェンダー」ってなあに？



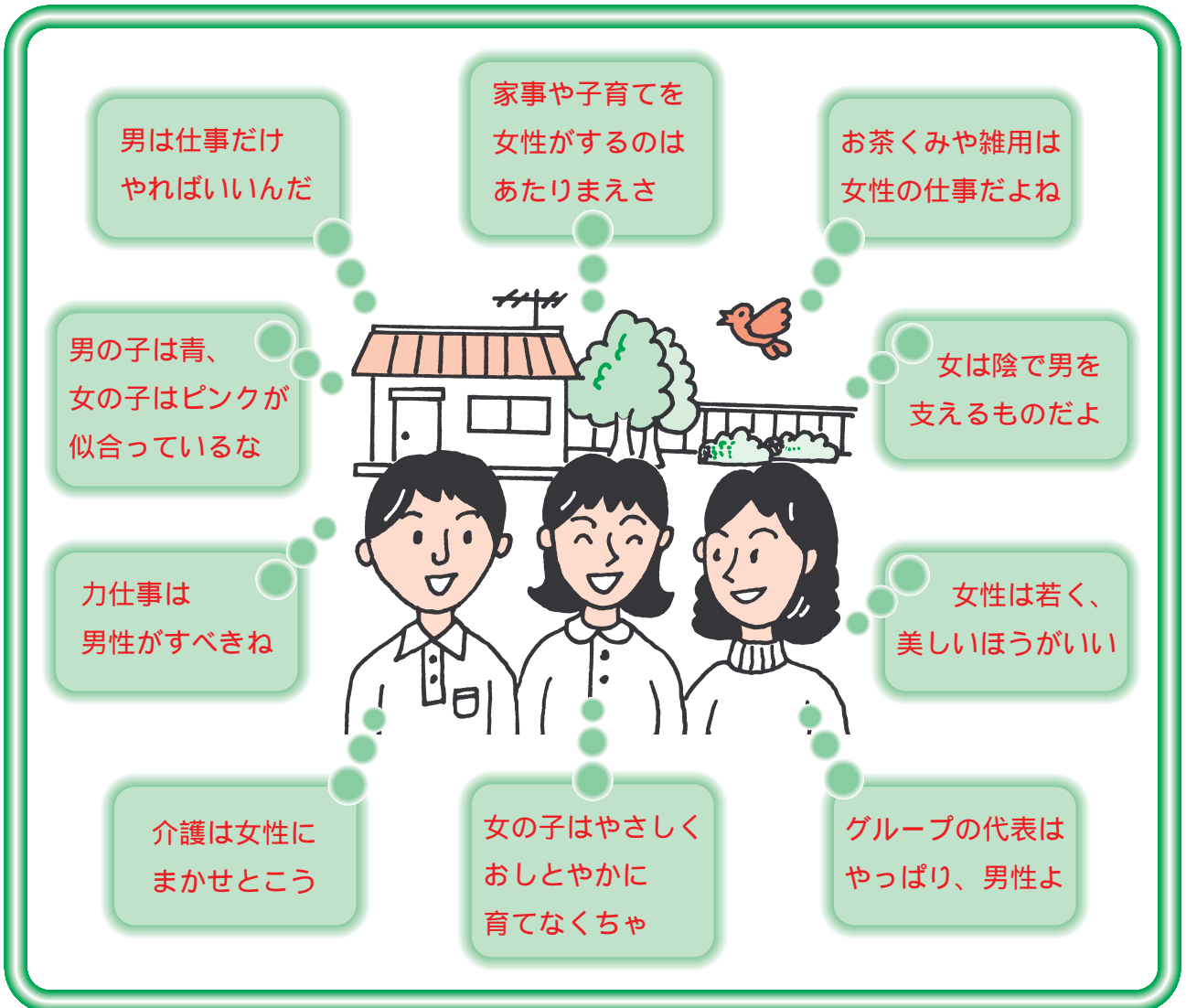
創刊にあたって 一宮市長 谷 一夫

平成12年3月に『いちのみやし男女共同参画計画』を策定いたしました。男女がお互いの人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、個性や能力を発揮できる男女共同参画社会の実現は、21世紀の重要な課題です。このたび、男女の真の自立と平等に向け、意識啓発のための情報紙を発行することになりました。この情報紙が男女共同参画社会の実現につながることを期待します。

「ジェンダー」ってなあに？

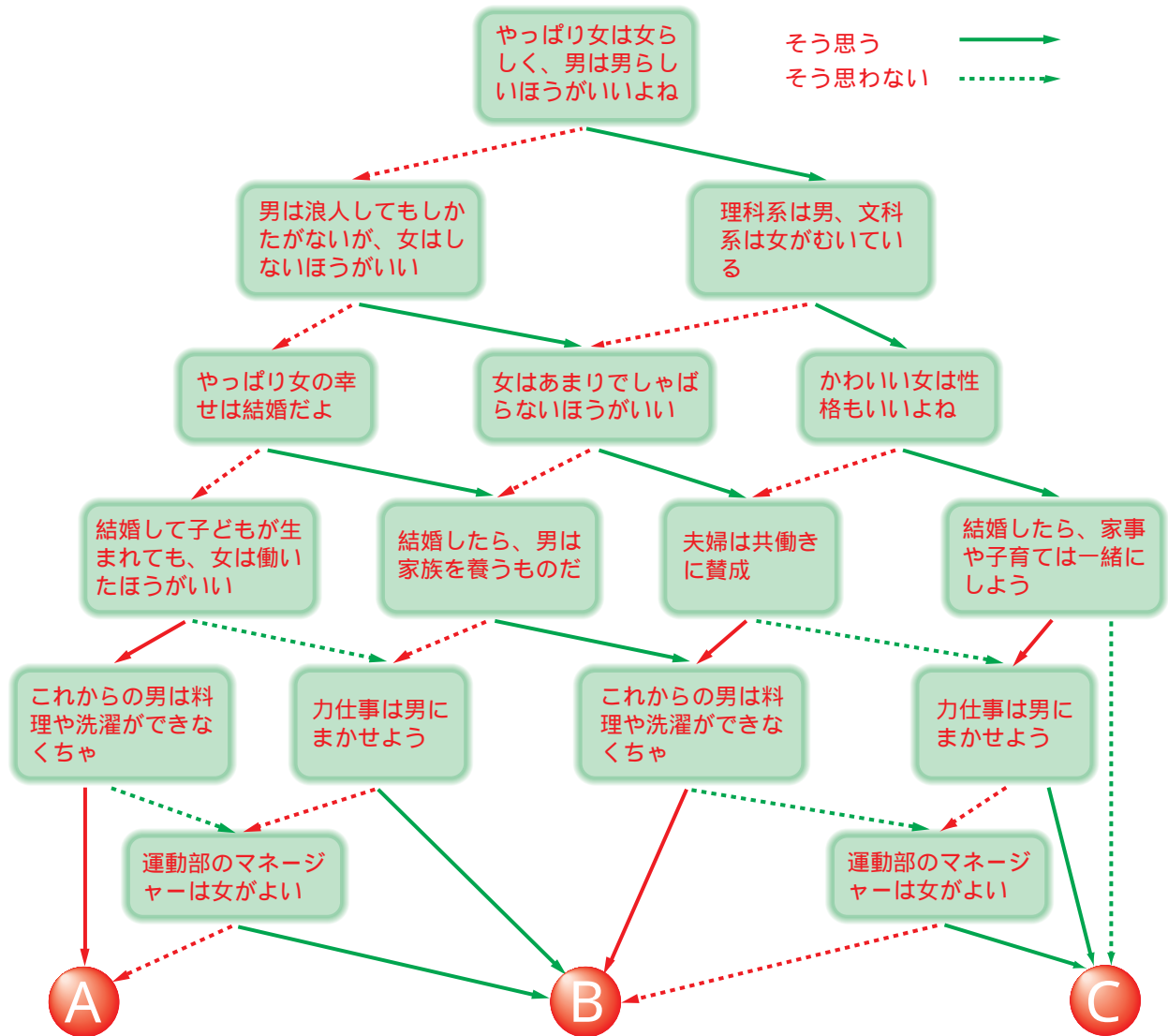
「女だから〇〇しなければならない」「男だから〇〇するのはあたりまえ」と人から言われたり、知らず知らずのうちに自分で思いこんでいたり...けれど、このような意識を生まれた時からもっているわけではありません。育っていく過程で、「女らしく」「男らしく」と言われ続け、自分の性にふさわしいとされる態度や行動を身に付けていくのです。このように「男らしさ」「女らしさ」といった文化的、社会的につくられた性別のことを『ジェンダー (GENDER)』といいます。

くらしの中にはジェンダーがいっぱい！



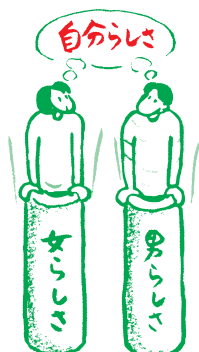
わたしたちの身の回りには、何気なくジェンダーがいっぱいあります。「女だから」「男だから」という理由で、男女の行動や生き方を決め付けていませんか？左のページであなたの心の中にあるジェンダーをチェックしてみましょう。

あなたの心の中をジェンダーチェック!



A いいかんじー ジェンダー・フリーの名人

かなり、いいセン、いってるね。この調子で、世の中にまだある女であること、男であることへのこだわりを考えてみましょう。女だから、男だからってことで、ソンすることはないはずだよ。

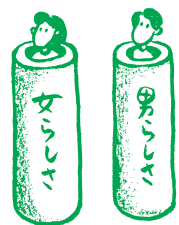


B あと一息ー ジェンダー・フリーの若葉マーク

確かに一昔前までは、女役、男役を分けたほうがいいと思っている人が大部分でした。でも、世の中変わってきたんだよ。「女らしさ」「男らしさ」よりも、「自分らしさ」を大切にしようよ。もっともっと楽しい生き方ができるはずだ。

C トホホー ジェンダー・フリー途上人

うーん、そう思う気持ちもわからんではないが、ちょっとおくれているね。女だって、男だって、同じ人間。女であること、男であることに、ちょっとこだわりすぎているかもしれない。もっと自由に考え直してみよう。



もう一度もどって、見直してみましよう。そう思う・そう思わないに関係なく、色の矢印がジェンダー・フリー・ライン。こちらの道を進めるようになれば、あなたもジェンダー・フリーになることができます。

21世紀はみんなで ジェンダーフリーな社会を築こう!

家庭で

ジェンダーに
とらわれないで!



良きパートナーとして

職場で



個人の能力を発揮して

地域で



協力して

これからは「男だから」「女だから」ということにとらわれず
ひとりひとりの個性や能力を発揮できる社会にしたいですね。



編集後記

『いーぶん』創刊号をお届けします。発行にあたりご協力いただいた皆様方に厚くお礼申し上げます。

情報紙の名称は、編集協力者の方に男女が良きパートナーとなるようお願いを込めて名付けていただきました。男女共同参画社会を形成する上で基本的なことである男女の「平等」(EVEN)から『いーぶん』となりました。これから男女共同参画に関する様々な話題を提供していきますので、どうぞよろしくお願ひします。

編集協力者

岡西よし子、滝 琴路
山内登世江、横井秀子
吉田和江

ご意見、
ご感想
まっています!
す!

